

湯河原ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



ロータリー： 変化をもたらす

第 2691回 例会
平成29年9月22日 (金)
天候 晴れ
合唱 それでこそロータリー

会長 石倉 幸久

幹事 渡辺 久恭

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上566湯河原温泉観光協会内

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉107 ニューウェルシティ湯河原

TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

観光庁によると、直近四半期の統計で、イギリス人が中国人を抜いて日本旅行中の消費額トップに躍り出たそうです。

では、イギリス人は何をしに日本に来ているかという、一言で言えば、日本の「文化」を体験しに行っている、ということだそうです。

「文化」と言っても、伝統芸能などの特別なコンテンツに限らず、我々日本人からすると「当たり前」に感じてしまうような日常の暮らしぶりに触れ、自分も「体験」してみたいという思いが強いそうです。

さらに言うと、イギリス人は日本の歴史についても関心が高いようでして、京都や奈良、金沢といった歴史の古い町が人気となっているようです。

この話を踏まえると、湯河原にインバウンドを増やすためには、奇抜なことをする必要はなくて、むしろ、「当たり前」というフィルターを取り払って、我々が湯河原の良さを再発見したり、改めて歴史を勉強してみたり、そういう努力が必要なのではないでしょうか。

スマイルBOX

結婚記念日 石田浩二君 (9/21)

土屋一弘君 真鶴町より敬老の日に大金を頂きました。

佐東丈介君 2016~17年度出席率上位5クラブで表彰されました。

望月博文君 9月18日地区大会を一身上の都合により欠席いたしました。

神谷一博君 峯さん、本日は湯河原までお越し頂きましてありがとうございました。また来て下さい。

出席報告	ゲスト 1名	ビジター 1名	会員24名
	欠席3(免除者0名)		前回の修正出席率100.00%
	出席率87.50%		前々回の修正出席率91.30%

事前メイクアップ 0名

ゲスト 湯河原町まちづくり部地域政策課
室伏係長

ビジター 峯一喜君 (小田原中RC)

幹事報告

ガバナーより

1. 地区大会参加のお礼状が届きました。
2. 地区補助金説明会&補助金管理セミナーのご案内
日時：10月28日(土) 13時~17時
場所：第一相澤ビル6階「会議室」
参加希望クラブは10月20日(金)までにご連絡下さい。

3. 米山月間卓話者派遣について

卓話日：10月20日(金)

<米山学友>氏名 于 宏宇様(男性)
大学(神奈川大学) 国籍(中国)

<随行ロータリアン>

氏名 澤田君雄君 クラブ名 箱根RC

第7・8・9グループガバナー補佐より

1. 第1回3グループ合同新会員の集いについて
日時：10月5日(木) 18時15分~
場所：平塚商工会議所3階大ホール
対象者：会長・幹事・クラブ研修リーダー・入会3年以下の会員

参加費：4,000円

連絡事項

1. 次週は、規定により休会となります。
2. 10月の例会は、6日通常例会、13日山もみじ下草刈り、20日、27日の通常例会です。



石田会員およろこび

まちづくり部地域政策課 室伏係長

本日は、町の「まち・ひと・しごと」創生総合戦略プランを説明させていただく機会をいただきましてありがとうございます。お時間は、20分ということですので、概要説明となりますが、よろしくお願いいたします。

◎1ページをお願いします。

このプランの趣旨でございますが、国が直面する、今後の人口減少、超高齢化社会という大きな課題に直面する中、国や地方が一体となって取組、地域の特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生することを目指して、国では、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」を施行し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定いたしました。一方、町の人口は、平成7年をピークに減少しており、2035年、今から18年後でございますが、20,000人を割り込むと推計されており人口減少問題への対策が急務となっております。こうした中、本町でも「地方版の総合戦略」の策定が求められ、持続可能なまちづくりに向けた戦略的な政策展開に向けて、この「まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン」を策定し、人口減少問題への対策を実施しているところでございます。

◎2ページをお願いします。

このプランの計画でございますが、2019年（31年度）までの5年間の計画となっております。現在、折り返しの年となっております。また、このプランは、町の基本構想及び基本計画となる総合計画の「ゆがわら2011プラン」と整合を図りながら、「湯けむりと笑顔あふれる 四季彩のまち 湯河原」である「まちの将来像」に向けて取り組んでいるところでございます。まちの将来像実現のためには、人口減少を抑制しバランスのとれた人口構成を確保することが最も重要なことから、将来像実現のため、就労・雇用の創出により社会減の抑制を図る「しごとづくり」、また、移住促進策により社会増の増加を図る「新たなひとの流れづくり」、若い世代の希望をかなえ自然減の抑制を図る「結婚・出産・子育ての環境づくり」、健康寿命日本一を目指す「人口減少・高齢化社会に対応したまちづくり」を柱とする施策の展開が必要となります。

こうした状況を踏まえ、プランの作成においては、湯河原町商工会、湯河原温泉観光協会、湯河原温泉旅館協同組合など各分野の皆様から、ご協力いただきまして、「総合戦略会議」とする会議体を町で設置し、ご意見及び提言をいただいているものでございます。

◎4ページをお願いします。

この「まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン」でございますが、4つの基本目標を掲げております。まず、基本目標1でございますが、就労・雇用の創出により社会減の抑制を図る「湯河原町にしごとをつくり、町内で就労できるようにする」次に、基本目標2でございますが、移住促進策により社会増の増加を図る「湯河原町への新しいひとの流れをつくる」さらに、基本目標3でございますが、若い世代の希望をかなえ自然減の抑制を図る

「結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる」最後に、基本目標4でございますが、健康寿命日本一を目指す

「人口減少・高齢化社会に対応したまちづくりを進める」でございます。の以上4つの目標を掲げ施策に取り組んでいるところでございます。この基本目標に従って、6ページ以降でございますが、各施策を実施又は計画しているものでございます。それでは、総合戦略プランにおける「基本目標1」から「基本目標4」につきまして、主要な事業について、ご説明させていただきます。

◎6ページから33ページまでとなりますが、基本目標1である「湯河原町にしごとをつくり、町内で就労できるようにする」ための事業となっております。

具体的な事業でございますが、◎6ページをお願いいたします。「道の駅の設置事業」でございますが、地元農林水産物の直売所や観光情報発信拠点としての機能だけでなく、湯河原らしい体験プログラムなどを準備した「道の駅」を設置し、国道135号通行車両を町内へ誘導するシンボリック施設を検討しているところでございます。



まちづくり部
地域政策課
室伏係長様

◎平成28年度は、

・(仮称)ゆがわら地場産品直売所整備検討委員会を設置したものでございます。

・この検討委員会では、温泉場方面への車の誘導を考慮し、候補地を「川端公園」に決定し、建屋及び駐車場について検討しているものでございます。また、「直売所」から「道の駅」を目指すことに方針変更したものでございます。

◎11ページをお願いいたします。

「駅周辺（商店街等）の活性化事業」でございますが、駅舎の完成を契機とし、湯河原駅周辺の商店街等を中心とする空き店舗を活用した新規開業支援、地場産品直売所の設置などによる活性化を促進していくものでございます。

◎今後の方向性でございますが、

・駅周辺の活性化対策として今後オープン予定のちぼりの湯河原スイーツファクトリー及び空き店舗対策との連携について検討をしていくものでございます。

◎16ページをお願いいたします。

「ゆがわら認定産品制度」でございますが、農林水産物及び加工品等の特産物について、「(仮称)ゆがわら認定産品制度」を創設し、認定した農産物等を「made in ゆがわら」として、広く全国発信していくものでございます。

◎平成28年度は、

・町で「made in ゆがわら認定審査委員会」を立ち上げたものでございます。

◎主な今後の方向性でございますが、

・観光アドバイザーを含めて、「ゆがわららしさ」の認定基準を検討をしていくものでございます。

◎19ページをお願いいたします。

「外国人観光客の来訪促進のためのPR事業」でございますが、町を訪れる外国人観光客の誘客を促進するため、外国語ホームページや外国語パンフレットの作製、外国語での接客によりおもてなしレベルの向上を図るとともに、湯河原町の自然や文化などの資源を活用したPRや海外都市との経済交流、民間団体との連携をしながら誘客を促進していくものでございます。

◎平成28年度は、

・日系人をターゲットに誘客活動をハワイで実施したものでございます。また、ヨーロッパの誘客拠点とするためイタリア共和国ティヴォリ市と友好親善都市提携をしたものでございます。

◎主な今後の方向性でございますが、

・平成28年度に引き続き、継続的な取組が必要でございますので、現地との連絡体制を強化することで、誘客促進を図っていくものでございます。

◎21ページをお願いいたします。

「街歩き情報配信サービス促進事業」でございますが、観光立町としての情報発信の強化と、インバウンド対策として、スマートフォン版観光ポータルサイト「ココシル湯河原」を立ち上げました。併せて、アプリ利用の向上を目的に、無料のWi-Fiスポットを整備していくものでございます。現在、町では、町内にWi-Fiスポットを28箇所整備してございます。また、現在、町では、NTT東日本の「光ステーション」を設置し、観光客などに無料でWi-Fiを提供されている民間事業者の方を対象に、「Yugawara-WiFi」を構築し、エリア拡大のため、アクセスポイント名の変更にご協力くださる事業者を募集しております。

◎32ページをお願いいたします。

「文化と観光による地域再生事業」でございますが、温泉場エリアの観光拠点となる文化施設の町立美術館を先駆的な施設へと見直すため、館内に「見えるアトリエ」を整備し、温泉場エリアを面で捉えた事業と連携していくものでございます。なお、平成29年10月5日から平松礼二画伯のアトリエを公開するものがございます。

◎33ページをお願いいたします。

「万葉公園・周辺地区まちづくり事業」でございますが、万葉公園等整備のコンセプト「湯河原温泉場の屋外リビング&ガーデン」に基づきまして、公園施設の再整備など、公園周辺地区の開発との調整及び一体的整備を進め、湯元通りを含め、温泉場エリアに魅力的な滞在の核をつくる取組をしているものでございます。

○平成28年度は、
・温泉場の地域資源の再生・活用検討調査を実施したものでございます。

○今後の方向性でございますが、
・温泉場の地域資源の再生・活用検討調査の検討結果を踏まえ、課題の整理をしながら、整備基本計画の策定等を行い、計画に基づく施設の整備や管理運営の見直しを検討していくものでございます。

◎続いて、34ページをお願いいたします。

この35ページから44ページまでが基本目標2である「湯河原町への新しいひとの流れをつくる」ための事業となっております。具体的な事業でございますが、

◎36ページでございますが、
「湯河原町への移住PR事業」でございますが、移住説明会、空き家を活用したトライアル・ステイ（移住促進のための居住体験）のほか、温泉入浴、海（サーフィン・釣り・漁業体験）や山（ハイキング）などの自然、農地（農業体験）などの地域資源を活用したプランや各種イベントを通して、湯河原町の魅力・自然・産業・暮らし（生活）をPRをしていくものでございます。

○平成28年度は、
・東京で移住説明会を4回開催しました。今後も引き続き実施してまいります。また、幕山ハイキングと婚活イベントを組み合わせた「梅コン」を実施したものでございます。

◎37ページでございますが、
「空き家利活用に向けた専門業者との連携事業」でございますが、湯河原町内の空き家・空き地を把握、不動産業者と連携し住居・店舗等として有効利用できるよう情報を発信し、専門業者との連携をしていくものでございます。

○平成28年度は、
・「県西空き家バンク連絡会」を設置し空き家HPを立上げたものでございます。

○今後の方向性でございますが、
・現在、町内の空き家調査を実施しております。

◎続いて、45ページをお願いいたします。
この46ページから57ページまでが、基本目標3である「結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる」ための事業となっております。具体的な事業でございますが、

◎47ページでございますが、
「子ども医療費助成の拡充事業」でございますが、小児医療費助成事業は、町では平成27年（2015年）7月から対象年齢を拡大し小学校6年生までとなっているが、制度的な統一性を構築するよう国・県へ働きかけながら、所得等による自己負担を求めずに、18歳以下まで段階的に対象年齢を引き上げ、若年層の転出を抑制取組をしていくものでございます。

◎50ページでございますが、
「産急（サンキュー）車の導入事業」でございますが、現在は、「マタニティ・サポート119事業」と名称が変更しております。町内に現在、分娩可能な産科病院がないため、頼ることができる家族・親戚・知人がいない妊婦にとっては不便な状況であるため、サイレンを付けた妊婦専用のワゴン車を、救急車以外の緊急車両として配備し、事前登録によって出産時に利用できる産急車を導入していくものでございます。

○今後の方向性でございますが、
・平成29年度サポート搬送車両の整備、事業広報を開始するものでございます。

また、平成30年4月1日の運用開始を目標に準備を行ってまいります。

◎52ページでございますが、
「結婚祝い金支給事業」でございますが、湯河原町に住所を有する男女の結婚を奨励祝福し結婚祝い金を支給することにより、定着化を図り、人口の減少を抑制し、湯河原町の活性化を促進していくものでございます。

○平成28年度に要綱を制定し移住及び定住にむけたPR強化をしてまいります。

◎55ページでございますが、
「婚活イベント実施事業」でございますが、町内外から結婚相手を探している独身の方を対象に婚活イベントを実施し、出会いの場を創出していくものでございます。

○平成28年度
・幕山ハイキングと婚活イベントを組み合わせた「梅コン」を実施したものでございます。また、さつきまつりに併せて婚活イベントを開催したものでございます。

◎続いて、58ページをお願いいたします。

この59ページから64ページまでが基本目標4である「人口減少・高齢化社会に対応したまちづくりを進める」ための事業となっております。

具体的な事業でございますが、

◎59ページでございますが、
「未病の戦略的エリア「未病いやしの里」構築事業（県西地域活性化プロジェクト）」でございますが、神奈川県が県西地域活性化プロジェクトに位置づけている「未病を改善する」取組を促進しております。

○平成28年度は、健康遊具を、総合運動公園など4箇所の公園に9基設置したものでございます。

○さらに、保健センターに「未病コーナー」として、骨健康測定器などを設置したものでございます。

◎61ページでございますが、
「町民が語り合う場づくり事業」でございますが、現在、町民がゆったりと語り合う場づくりを推進するため、慶應義塾大学が中心に行っている「居場所プロジェクト」や「絵屏風プロジェクト」と連携し、多世代が交流できる機会を創出していくものでございます。

○「居場所プロジェクト」でございますが、平成28年度にさくらんぼ公園横の民家を活用して、慶應義塾大学主催による子どもからお年寄りまで安心して過ごせる「多世代の居場所」を開設しました。なお、開設は不定期でございます。※住所：中央3-2-11

○「絵屏風プロジェクト」でございますが、
現在、観光会館2階の資料展示室に「湯河原ふるさと絵屏風」を展示してございます。

◎64ページでございますが、
「交通不便地域の解消に向けた事業」でございますが、高齢者など交通弱者を含め多くの方が気軽に安全におでかけできるよう、バス路線のない交通不便地域の解消に向けた対策を検討・実施していくものでございます。

○平成28年度は、
・地域公共交通会議を設置し持続可能な公共交通について協議を開始したものでございます。

○今後の方向性でございますが、
・平成29年度に町交通に関する基本計画「地域公共交通網形成計画」を策定

・平成30年度に、交通不便を解消緩和する新たな公共の実証運行を実施を予定しているものでございます。

・平成31年度に、新たな公共交通の本格運行を目標としているものでございます。
駆け足の説明で大変恐縮でございますが、説明を終了させていただきます。

地区大会

国際ロータリー第2780地区2017～2018年度 地区大会
日時：平成29年9月17, 18日
会場：小田急ホテルセンチュリー相模大野(第1日)
相模女子大グリーンホール(第2日 本会議)
ホスト：相模原南ロータリークラブ

本会議プログラム (抜粋)

受付・登録

点鐘

開会の言葉

国歌斉唱

ロータリーソング斉唱

物故会員への黙祷

参加者紹介・参加クラブ紹介

歓迎の言葉

ガバナー挨拶・地区現況報告

RI会長メッセージ・現況報告

記念事業の披露・目録贈呈

来賓祝辞 神奈川県知事 黒岩祐治ほか

決議委員会報告

地区大会決議採択

記念講演「輝いて生きる」ジュディ・オング

各種表彰 湯河原クラブは出席率第5位表彰

高杉尚男会員 マルチプルフェロー (M2)

常盤章夫会員 米山寄付 (第1回)

新世代紹介

祝電披露

アトラクション 能

ガバナーエレクト紹介

ガバナーエレクト挨拶

ガバナーノミニー紹介

次期ホストクラブ紹介

RI会長代理に記念品・花束贈呈

直前ガバナーご夫妻に記念品・花束贈呈

大会を顧みて

ガバナー謝辞

閉会の辞

点鐘

諸事お知らせ

*湯河原ロータリークラブは石田会員の御好意により往復バスで参加致しました。



地区大会参加者



地区大会参加者



地区大会G補佐クラブ紹介



地区大会出席者